
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより第129号(通巻第196号)

2014年8月4日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会, 研修, 教育フォーラムに関するお知らせは, 改変しない限り, 自由に複写, 配布していただいて結構です。

■ 山梨県教育委員会十年経験者研修「山梨大学セミナー」の開催

本センターは山梨県教育委員会との連携事業として十年経験者研修「山梨大学セミナー」を開催しています。今年度は教育人間科学部の他に、医学部、生命環境学部のご協力を得て8月8日(金)に開催され、教職十年目の102名の先生方が受講されます。

・研修内容

- 「国産ワインと発酵食品について」(柳田藤寿先生)
- 「アレルギーの最新メカニズムと予防/治療」(中尾篤人先生)
- 「消費者教育推進法に基づく消費者教育の進め方」(神山久美先生)
- 「発達の遅れや偏りをどう支えるか?」(鳥海順子先生)

■ 山梨県総合教育センターの先生方による講義「学校制度・経営論」について

「学校制度・経営論」は、教員免許状取得を希望している四年生を対象とした必修科目であり、平成21年度より開設されています。この科目は、教員をめざす学生が、県内の教職員の研修を主に担当している山梨県総合教育センター(以下、県センター)の研修主事の先生方から講義をしていただくことで、今日の学校教育の動向を知り、教師としての資質及び力量を育んでいこうとすることを目的としています。今年度、県センターの研修主事の先生方に担当していただいた講義は5月から7月までに全9回実施され、過日全てが終了しました。



講義では、今日の学校現場の喫緊の課題となっている内容、例えば「キャリア教育」「小学校外国語活動」「言語活動の充実」「教育相談」「特別支援教育」「ストレスマネジメント教育」などを取り上げ、講義していただきました。この事業は、県センターと本学の教育実践総合センターの連携・協力の一貫として実施されているものであり、相互に研究を深めるよい機会となっています。

以下、県センターの研修主事の先生方よりいただいたコメントの一部を掲載します。

- ・貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。自分にとっても、とても勉強になりました。学生のみなさんも、最後まで「御清聴」していただきました。昔の教え子がいたり、「教師以外の仕事は考えられない」と熱く語る学生がいたり、とてもよい思い出を作ることができました。
- ・学生さんたちは長時間にもかかわらず集中して聴いてくれました。さすが先生の卵ですね。
- ・皆さんとても熱心に受講してくださり、演習も盛り上がりました。野球部のY君でしたか、全体をよく見て動いてくれて助かりました。
- ・学生のみなさんと楽しい時間を過ごすことができました。講義が終わってから感想を話しに来てくれる学生もいて、紹介した詩を読んで涙が出そうだった、もっと時間があれば話を聴きたかったと嬉しいお言葉を頂戴しました。明るく和気藹々とした雰囲気、梨大の空気に浸れたこと感謝いたします。
- ・しっかり聴講してくださり、また、演習もよく参加してくださりととても授業しやすかったです。学生さんの真剣なまなざしが印象的でした。提出していただいたプリントもよく書いてあり、参考になります。
- ・とても勉強になった90分でした。ムードメーカーになってくださった学生さんたちや聞きながら聞いてくださった学生さんたち、いろいろとお手伝いしてくださった学生さんたちに助けられました。

■ 山梨大学教育人間科学部「教師塾」の取組み

平成26年度からの試みとして、教育実践総合センターが主催する公開授業が行われました。平成26年7月29日の5時限。場所はN-31模擬授業室です。行われた公開授業は「道徳の時間の指導」で、小学校高学年の読み物資料を使って実践センターの蘓原教授が希望する学生を児童役にして実施しました。

「道徳の時間」の指導は教師になれば誰もが行う時間です。しかし、学生に自分が小中学校の時に道徳の時間についてどんな印象が残っているか尋ねても、「あまり印象に残っていない」という回答をよく聞きます。そこで今回は実際に体験をしてもらって学生の授業力の向上に活用しようと考え実施しました。

当日は14名の学生と院生が児童役として参加してくれました。指導者の発問に真剣に向き合い登場人物になりきって発言をしてくれました。授業後は研究会を行い、本時のねらいや発言のさばき方、資料の分析の仕方、国語と道徳との違いとは？ など学生からの質問に沿って協議を深めました。参加してくれた県内の現職教員の皆さんにも御意見を求め、現場の経験談を話していただきました。教職を目指す学生の指導力の引き出しが幾つか増えた公開授業となりました。

教育実践総合センターでは、後期にもう一度公開授業を開催したいと考えています。

新たに始まった「山梨大学教師塾」に多くの皆さんの参加をお待ちしています。



道徳の授業を受ける学生たち



研究会で現職の先生から助言

■ 教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室（L-428）」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。